

優秀賞

たいせつないのちをまもるため

川崎町立川崎小学校 3年 船原 千陽

わたしのいとこは18才です。18才になってすぐに、車のめんきょをとりました。わたしもいとこの車にのせてもらった事があります。

すごく安全うんで、すこしもこわくありませんでした。しょしんしゃでもうんでんが上手だなあと思っていました。しかし数日後、いとこのお姉ちゃんは交通事故にあってしまいました。話を聞いてみると、いったんてい止をして大きな道に出る時にこちらに曲がってくる車が「先にどうぞ。」と行かせてくれる事になったようです。そこで、いとこが道路に出た時に、反対から車が走って来て、その車とぶつかってしまったのです。車は、こわれてしまいました。大きなケガをしなかったので、ホッとしました。だけどすこしのかくにんミスで、大へんな事故になったり、死んでしまったりするので自分や相手のいのちをまもるために、しっかりと安全かくにんするのが大じよね。と家族で話しました。